

## 平成26年9月及び夏期の熱中症による救急搬送の状況

熱中症による救急搬送人員数について、夏期（平成26年6月～9月）の確定値を取りまとめましたので、9月の確定値とともに、その概要を公表します。

### 概 要

- 平成26年6月から9月の全国における熱中症による救急搬送人員数の累計は40,048人でした。過去4か年の同時期の平均搬送人員数51,755人と比べると約2割減となっています。これは、夏季の到来により気温が上昇する時期が5月末からと昨年より早かったものの、梅雨明けが沖縄・奄美地方を除いて平年並みとなる中で、8月には全国的に涼しい気候となり9月以降もその傾向が続いたことが要因と考えられます。  
また、平成26年9月の全国における熱中症による救急搬送人員数は1,824人でした。昨年同時期の搬送人数3,133人と比べると約4割減となっています。これは、9月の気温が平年と比較して全国的に1℃程度低く、真夏日（30度以上）を観測した地域が平均5日程度（平年13日程度）にとどまったことが要因と考えられます。  
気象庁によると、10月の気温は全国的に平年並みか低いとの見込みですが、沖縄・奄美地方では平年並みか高いと見込まれ、真夏日が観測される日も見込まれていることから、引き続き注意が必要です。
- 救急搬送の状況の内訳については次の通りです。
  - 救急搬送人員数の年齢区分別では夏期を通して、高齢者が最も多く、次いで成人、少年、乳幼児の順となっています。
  - 搬送された医療機関での初診時における傷病程度を見ると夏期を通して、軽症が最も多く、次いで中等症、重症、死亡の順となっています。
  - 都道府県別人口10万人当たりの搬送人員数は、夏期を通して沖縄県が最も多く、次いで福島県、群馬県の順でした。9月は沖縄県が最も多く、次いで鹿児島県、宮崎県の順でした。
- 以下のホームページにて、熱中症による救急搬送状況の速報値を毎週発表するとともに、熱中症予防策等について紹介した「熱中症リーフレット」を公表しています。

消防庁熱中症情報

[http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9\\_2.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html)

熱中症対策リーフレット

<http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi2605/pdf/260514-1.pdf>

### 【資料】

[平成26年夏期（6～9月）の熱中症による救急搬送状況](#)

[平成26年9月の熱中症による救急搬送状況](#)



(連絡先)

消防庁救急企画室

担当：寺谷、平井、大迫

電話：03-5253-7529

FAX：03-5253-7539

# 平成 26 年夏期（6 月～9 月）の熱中症による救急搬送状況の概要

（「夏期（6 月～9 月）」を以下、「夏期」という。）

## 1 総 数

平成 26 年 6 月から 9 月の全国における熱中症による救急搬送人員数の累計は 40,048 人でした。過去 4 か年の同時期の平均搬送人員数 51,755 人と比べると約 2 割減となっています。これは、夏季の到来により気温が上昇する時期が 5 月の末からと昨年より早かったものの、梅雨明けが沖縄・奄美地方を除いて平年並みとなる中で、8 月には全国的に涼しい気候となり 9 月以降もその傾向が続いたことが要因と考えられます。（集計 1、集計 2、集計 4-1、集計 4-2 参照）

## 2 内 訳

### （1）年齢区分ごとの搬送人員数

高齢者が 18,468 人（46.1%）と最も多く、次いで成人 15,595 人（38.9%）、少年 5,622 人（14.0%）、乳幼児 359 人（0.9%）の順となっています。

（集計 1、集計 2 参照）

### （2）医療機関での初診時における傷病程度ごとの搬送人員数

軽症が最も多く 25,967 人（64.8%）、次いで中等症 12,860 人（32.1%）、重症 787 人（2.0%）、死亡 55 人（0.1%）となっています。（集計 1、集計 2 参照）

### （3）都道府県別人口 10 万人当たりの搬送人員数

沖縄県が最も多く 55.55 人であり、次いで福島県 50.00 人、群馬県 47.78 人の順となっています。（集計 5、6 参照）

## 3 その他

消防庁熱中症情報 [http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9\\_2.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html)

### 参考（気象庁「夏（6 月～8 月）の天候」より）

夏の降水量は、梅雨前線の影響は弱かったが、主に 7 月 30 日からの「平成 26 年 8 月豪雨」の影響で、北日本、西日本太平洋側ではかなり多く、東・西日本日本海側で多かった。気圧の谷の影響と太平洋高気圧の西日本付近への張り出しが弱かった影響で、西日本の夏の日照時間はかなり少なく、西日本の夏の平均気温は、2003 年以来 11 年ぶりに低くなった。一方、日本の東海上の高気圧が強かった影響で、高気圧周辺の南からの暖かい空気が流れ込んだ北・東日本の気温は高く、暖かい空気に覆われることが多かった沖縄・奄美の気温も高かった。

梅雨前線は、6 月は沖縄・奄美や日本の南海上に停滞したが、7 月上旬に本州付近に北上した後、7 月下旬に北日本まで北上した。このため、梅雨前線の影響は、沖縄・奄美では受けやすかったが、北日本から西日本にかけては小さかった。6 月前半は、北日本から西日本にかけて気圧の谷の影響で、西日本を中心に日照時間が少なく、北日本と東日本太平洋側では、大雨となった所があった。また、台風第 8 号が 7 月 8 日に沖縄本島と宮古島の間を通過し、10 日に鹿児島県に上陸して本州南岸を東進した。この影響で、沖縄本島地方では記録的な大雨となったほか、北日本から西日本にかけても局地的に大雨となり、各地で土砂災害や浸水害等が発生した。7 月中旬は東・西日本太平洋側や沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われて晴れる日が多くなったが、湿った気流や上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となって、北日本から西日本の所々で大雨となった。7 月下旬は、東・西日本では高気圧に覆われて晴れる日が多く猛暑日となった所が多かったが、23 日頃に台風第 10 号の影響により八重山諸島で大雨となり、27 日頃には低気圧の影響で北海道地方を中心に大雨となった。

7 月 30 日から 8 月下旬にかけては、台風第 12 号及び台風第 11 号が相次いで接近するとともに、前線が日本付近に停滞し、日本付近への暖かく非常に湿った空気の流れ込みが続いた。このため、各地で大雨となった（平成 26 年 8 月豪雨）。特に、四国地方の太平洋側では、台風第 12 号の影響で、8 月 1 日から 5 日までの総降水量が多い所で 1000 ミリを超える大雨となった。また、10 日に四国地方に上陸した台風第 11 号の影響で、沖縄・奄美と西日本で暴風雨となり、四国地方や東海地方を中心に日本の広い範囲で大雨となった。その後も前線の影響で 16 日から 17 日にかけては、近畿地方、北陸地方、東海地方で局地的な大雨が発生し、さらに、19 日夜から 20 日明け方にかけては、広島県広島市で集中豪雨となり、大規模な土砂災害が発生した。

# 熱中症による救急搬送状況（平成 26 年 9 月 確定値）の概要

## 1 総数

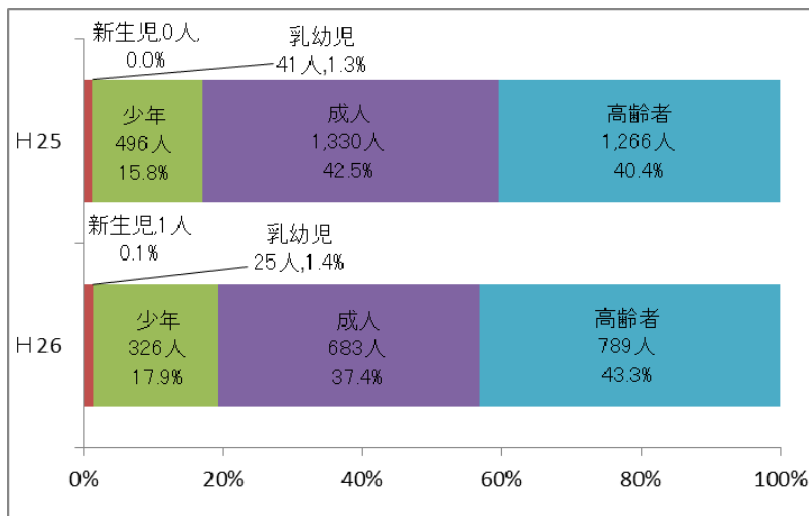
平成 26 年 9 月の全国における熱中症による救急搬送人員数は 1,824 人でした。昨年同時期の搬送人数 3,133 人と比べると約 4 割減となっています。これは、9 月の気温が平年と比較して全国的に 1℃程度低く、真夏日（30 度以上）を観測した地域が平均 5 日程度（平年 13 日程度）にとどまったことが要因と考えられます。（集計 1、集計 2、集計 3 参照）

## 2 内訳

### （1）年齢区分ごとの搬送人員数

高齢者が 789 人（43.3%）と最も多く、次いで成人 683 人（37.4%）、少年 326 人（17.9%）、乳幼児 25 人（1.4%）の順となっています。（集計 1 参照）

熱中症搬送人員年齢区分（構成比）



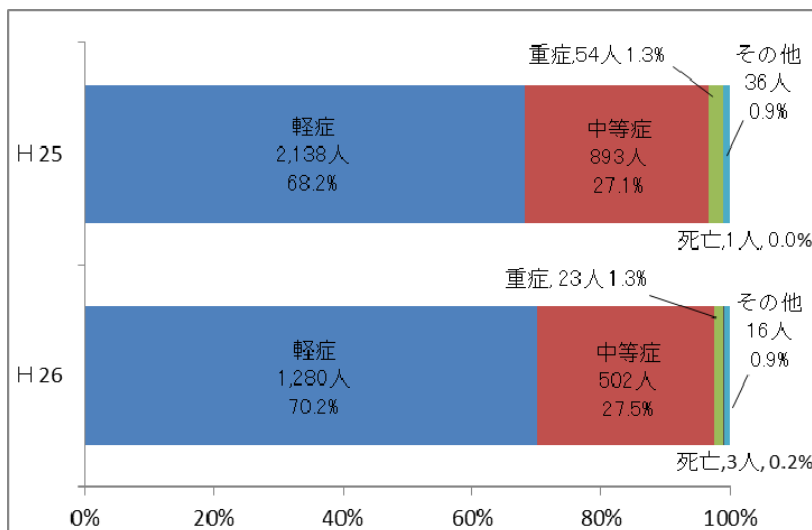
#### 凡例

新生児：生後 28 日未満の者  
 乳幼児：生後 28 日以上満 7 歳未満の者  
 少年：満 7 歳以上満 18 歳未満の者  
 成人：満 18 歳以上満 65 歳未満の者  
 高齢者：満 65 歳以上の者

### （2）医療機関での初診時における傷病程度ごとの搬送人員数

軽症が最も多く 1,280 人（70.2%）、次いで中等症 502 人（27.5%）、重症 23 人（1.3%）、死亡 3 人（0.2%）となっています。（集計 1 参照）

熱中症搬送人員初診時傷病程度（構成比）

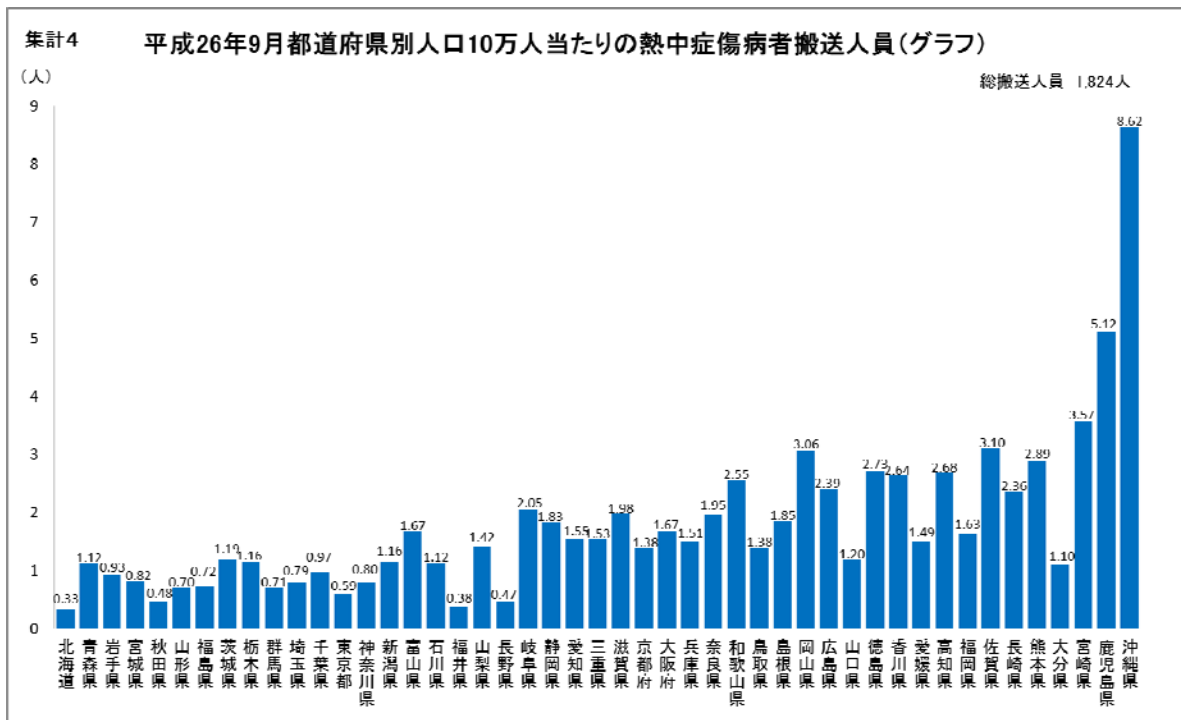


#### 凡例

軽症：入院を必要としないもの  
 中等症：重症または軽症以外のもの  
 重症：3 週間の入院加療を必要とするもの以上  
 死亡：医師の初診時に死亡が確認されたもの  
 その他：医師の診断がないもの、傷病程度が判明しないもの、その他の場所に搬送したもの

(3) 都道府県別人口 10 万人当たりの搬送人員数

沖縄県が最も多く 8.62 人であり、次いで鹿児島県 5.12 人、宮崎県 3.57 人の順となっています。(集計 4 参照)



3 その他

消防庁熱中症情報

[http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9\\_2.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html)

参考 (気象庁「9月の天候」より)

北日本から西日本にかけては、大陸からの冷たい空気を伴った移動性高気圧に覆われることが多かった。秋雨前線は、西日本の南海上に停滞したものの、本州付近ではその活動は弱かった。一方、沖縄地方は勢力の強い太平洋高気圧に覆われた状態が続いた。このため、東日本から西日本にかけては気温が低く、東日本は 2009 年以来 5 年ぶり、西日本では 2006 年以来 8 年ぶりの低温となった。一方、沖縄・奄美では月平均気温が平年差 +1.3℃と著しい高温となり、1946 年の統計開始以来、9 月としては最も高い記録を更新した。また、前線に近かった九州と四国を除いては、ほとんどの地方で日照時間が多く、降水量が少なかった。特に、北・東日本と沖縄・奄美の日照時間はかなり多く、北日本日本海側の月間日照時間は平年比 122%と、1946 年の統計開始以来、9 月として最も多い記録を更新した。一方、九州北部地方と九州南部では、前線の影響を受け、日照時間が少なくなった。

上旬は、本州南岸に前線が停滞することが多く、東・西日本太平洋側では曇りや雨の日が多かった。一方、北日本と東日本日本海側では天気は数日の周期で変わったが、移動性高気圧に覆われて晴れた日が多かった。また、沖縄地方では熱帯低気圧 (7 日に台風第 14 号に発達) の影響を受けた 6 日を除き、太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日が続いた。中旬は、沖縄地方では引き続き太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日が続いた。北日本では上空に寒気を伴った低気圧の影響で北海道を中心に曇りや雨の日が、西日本では前線の影響で曇りの日が見られ、天気は数日の周期で変わったが、東日本と東北地方では移動性高気圧に覆われる日が多かった。また、上空に寒気を伴った低気圧がゆっくりと北日本を通過し、下層に湿った空気が流れ込んだために、北海道の一部では 11 日に記録的な大雨となり、大雨特別警報が発表された地方があった。下旬は、本州の南海上には前線が停滞し、九州では前半を中心に曇りや雨の日が多かったが、西日本から北日本にかけては数日の周期で天気は変わったものの移動性高気圧に覆われて晴れる日が多かった。また、沖縄・奄美では太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日が多かった。

## 平成 26 年夏期（6 月～9 月）の熱中症による救急搬送状況

（「夏期（6 月～9 月）」を以下、「夏期」という。）

1. 集計 1 平成 26 年夏期の都道府県別熱中症による救急搬送状況（表）
2. 集計 2 夏期の全国の熱中症による救急搬送状況  
(平成 22 年～26 年)(表・グラフ)
3. 集計 3 平成 26 年夏期の都道府県別月別熱中症傷病者搬送状況（グラフ）
4. 集計 4-1、2 夏期の都道府県別月別熱中症傷病者搬送状況  
(平成 22 年～26 年)(表)
5. 集計 5 平成 26 年夏期の都道府県別人口 10 万人当たりの熱中症傷病者  
総搬送人員（グラフ）
6. 集計 6 夏期の都道府県別人口 10 万人当たりの熱中症傷病者総搬送状況  
(平成 22 年～26 年)(表)

集計1

## 平成26年夏期の都府県別熱中症による救急搬送状況(表)

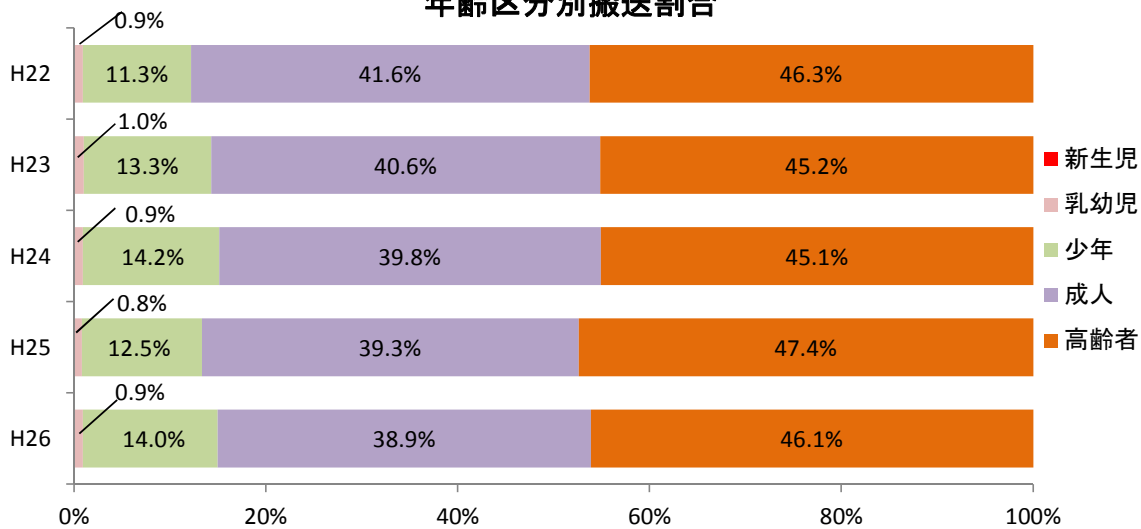
都道府県		平成26年6月1日～9月30日											
		年齢区分(人)						初診時における傷病程度(人)					
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
1	北海道	0	8	111	272	404	795	2	17	225	532	19	795
2	青森県	0	1	41	82	156	280	0	7	95	178	0	280
3	岩手県	0	0	56	131	164	351	0	10	104	231	6	351
4	宮城県	0	4	158	334	341	837	0	15	399	422	1	837
5	秋田県	0	2	31	88	145	266	0	5	69	179	13	266
6	山形県	0	2	56	119	189	366	4	13	115	221	13	366
7	福島県	0	7	130	337	499	973	2	26	271	674	0	973
8	茨城県	0	8	173	560	552	1,293	0	28	425	840	0	1,293
9	栃木県	0	4	95	354	341	794	2	17	281	493	1	794
10	群馬県	0	6	168	350	424	948	4	25	315	604	0	948
11	埼玉県	0	17	372	1,239	1,280	2,908	2	58	899	1,948	1	2,908
12	千葉県	0	18	286	859	869	2,032	3	37	791	1,200	1	2,032
13	東京都	0	20	394	1,458	1,390	3,262	0	73	1,323	1,866	0	3,262
14	神奈川県	0	22	309	895	812	2,038	0	63	789	1,186	0	2,038
15	新潟県	1	8	135	369	460	973	3	14	249	678	29	973
16	富山県	0	3	39	135	136	313	2	7	68	236	0	313
17	石川県	0	3	43	147	200	393	0	7	104	278	4	393
18	福井県	0	4	38	91	119	252	0	4	105	143	0	252
19	山梨県	0	9	63	114	132	318	0	11	123	184	0	318
20	長野県	0	7	93	182	305	587	1	8	224	338	16	587
21	岐阜県	0	11	90	242	294	637	0	16	270	351	0	637
22	静岡県	0	17	176	328	478	999	1	22	258	718	0	999
23	愛知県	1	28	304	1,007	1,062	2,402	3	34	596	1,742	27	2,402
24	三重県	0	6	66	240	300	612	2	8	95	447	60	612
25	滋賀県	0	13	87	189	245	534	4	8	114	408	0	534
26	京都府	0	10	113	357	576	1,056	0	5	221	830	0	1,056
27	大阪府	0	20	342	1,001	1,108	2,471	2	17	551	1,900	1	2,471
28	兵庫県	0	11	215	636	804	1,666	2	28	429	1,206	1	1,666
29	奈良県	0	11	80	174	225	490	0	9	161	320	0	490
30	和歌山県	0	4	73	147	228	452	1	11	91	342	7	452
31	鳥取県	0	2	21	72	86	181	0	2	82	97	0	181
32	島根県	0	1	63	67	128	259	2	1	101	150	5	259
33	岡山県	0	14	78	283	411	786	2	14	194	556	20	786
34	広島県	0	4	100	260	397	761	2	23	317	419	0	761
35	山口県	0	1	46	132	176	355	0	3	122	227	3	355
36	徳島県	0	0	36	90	145	271	0	7	73	137	54	271
37	香川県	0	0	45	128	218	391	4	19	170	198	0	391
38	愛媛県	0	4	75	186	241	506	2	7	111	385	1	506
39	高知県	0	0	44	117	165	326	0	13	61	221	31	326
40	福岡県	2	15	182	466	585	1,250	0	24	622	599	5	1,250
41	佐賀県	0	0	58	89	108	255	1	0	80	174	0	255
42	長崎県	0	2	42	149	168	361	0	12	154	195	0	361
43	熊本県	0	4	124	224	309	661	0	10	228	411	12	661
44	大分県	0	1	44	129	223	397	0	6	167	224	0	397
45	宮崎県	0	4	60	159	225	448	0	12	167	256	13	448
46	鹿児島県	0	10	102	256	388	756	1	11	302	442	0	756
47	沖縄県	0	13	165	351	257	786	1	20	149	581	35	786
合計【人】		4	359	5,622	15,595	18,468	40,048	55	787	12,860	25,967	379	40,048
割合		0.0%	0.9%	14.0%	38.9%	46.1%	100.0%	0.1%	2.0%	32.1%	64.8%	0.9%	100.0%

集計2

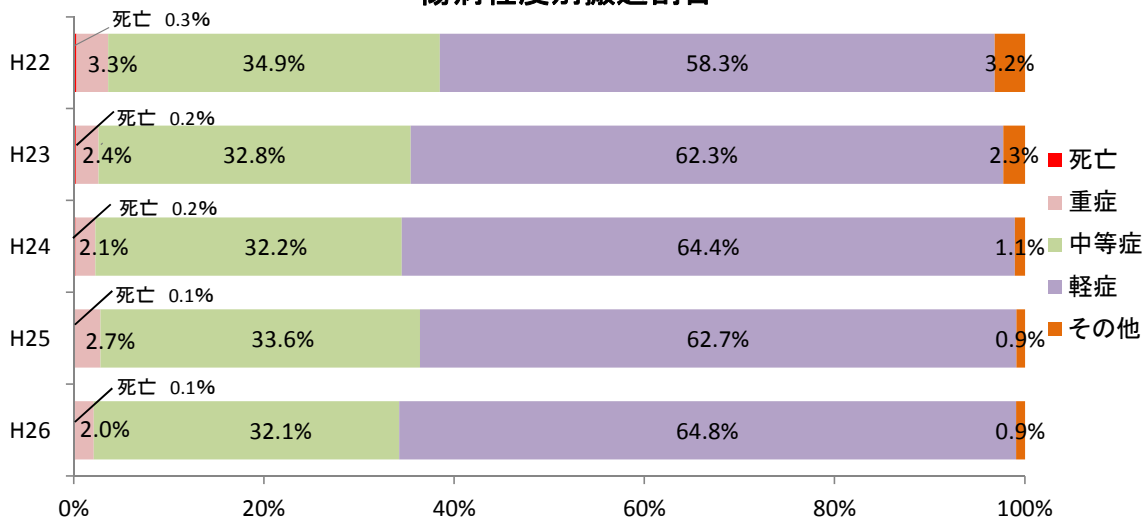
夏期の全国の熱中症による救急搬送状況(平成22年～平成26年)

	年齢区分(人)						初診時における傷病程度(人)					
	新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
H22年	0	489	6,331	23,324	25,975	56,119	171	1,848	19,608	32,709	1,783	56,119
	0.0%	0.9%	11.3%	41.6%	46.3%		0.3%	3.3%	34.9%	58.3%	3.2%	
H23年	0	442	6,182	18,847	20,998	46,469	73	1,134	15,240	28,946	1,076	46,469
	0.0%	1.0%	13.3%	40.6%	45.2%		0.2%	2.4%	32.8%	62.3%	2.3%	
H24年	5	412	6,467	18,192	20,625	45,701	76	980	14,736	29,426	483	45,701
	0.0%	0.9%	14.2%	39.8%	45.1%		0.2%	2.1%	32.2%	64.4%	1.1%	
H25年	6	466	7,367	23,062	27,828	58,729	88	1,568	19,754	36,805	514	58,729
	0.0%	0.8%	12.5%	39.3%	47.4%		0.1%	2.7%	33.6%	62.7%	0.9%	
H26年	4	359	5,622	15,595	18,468	40,048	55	787	12,860	25,967	379	40,048
	0.0%	0.9%	14.0%	38.9%	46.1%		0.1%	2.0%	32.1%	64.8%	0.9%	

年齢区分別搬送割合



傷病程度別搬送割合

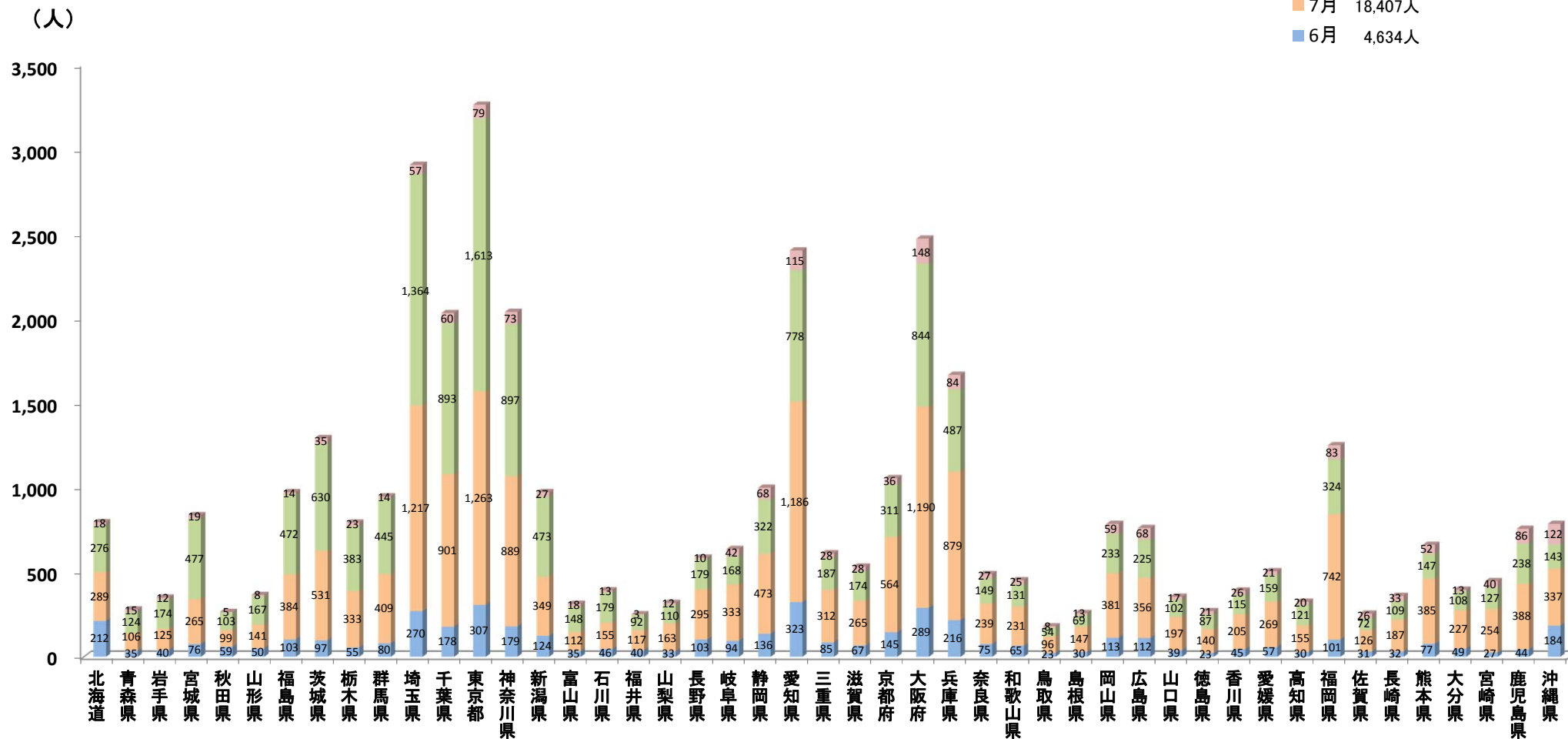


\* 割合の算出に当たっては、端数処理(四捨五入)のため、割合の合計は100%にならない場合があります。

集計3

平成26年夏期の都道府県別月別熱中症傷病者搬送状況(グラフ)

9月 1,824人  
8月 15,183人  
7月 18,407人  
6月 4,634人





## 集計4-1

夏期の都道府県別月別熱中症傷病者搬送状況(平成22年～26年)(表)

都道府県		6月～7月の救急搬送人員数									
		6月					7月				
		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
1	北海道	142	67	77	123	212	125	236	419	430	289
2	青森県	16	17	18	23	35	114	122	122	83	106
3	岩手県	36	35	30	48	40	154	257	216	62	125
4	宮城県	30	77	28	44	76	410	436	347	171	265
5	秋田県	30	13	33	72	59	89	201	137	85	99
6	山形県	39	39	13	59	50	152	173	145	54	141
7	福島県	69	65	39	84	103	339	405	357	250	384
8	茨城県	42	132	36	53	97	492	473	608	532	531
9	栃木県	47	102	46	36	55	389	354	366	329	333
10	群馬県	33	171	45	60	80	463	450	454	468	409
11	埼玉県	140	534	89	195	270	1,484	1,257	1,459	1,523	1,217
12	千葉県	67	266	46	112	178	833	827	861	1,349	901
13	東京都	119	414	83	169	307	1,526	1,427	1,433	2,024	1,263
14	神奈川県	66	320	54	125	179	954	815	939	1,473	889
15	新潟県	47	74	37	128	124	376	530	461	231	349
16	富山県	8	25	6	25	35	159	148	181	105	112
17	石川県	20	38	43	34	46	200	226	202	144	155
18	福井県	12	38	6	22	40	117	139	139	116	117
19	山梨県	19	58	7	22	33	133	108	95	173	163
20	長野県	42	77	35	58	103	289	311	328	280	295
21	岐阜県	44	141	31	104	94	385	328	427	457	333
22	静岡県	76	232	24	75	136	551	408	458	690	473
23	愛知県	284	794	107	254	323	1,669	1,227	1,483	1,992	1,186
24	三重県	45	221	17	95	85	370	276	458	513	312
25	滋賀県	28	110	12	58	67	193	224	297	298	265
26	京都府	56	236	54	164	145	422	467	651	679	564
27	大阪府	125	542	95	362	289	1,055	916	1,285	1,453	1,190
28	兵庫県	86	344	73	230	216	709	691	880	998	879
29	奈良県	32	133	19	81	75	243	223	304	285	239
30	和歌山県	26	132	21	62	65	143	182	249	290	231
31	鳥取県	6	27	7	21	23	103	152	177	119	96
32	島根県	10	23	22	30	30	116	133	180	129	147
33	岡山県	54	170	56	174	113	288	346	535	435	381
34	広島県	50	132	60	168	112	345	454	499	552	356
35	山口県	14	46	24	45	39	162	204	249	321	197
36	徳島県	18	46	19	46	23	77	74	141	186	140
37	香川県	21	81	20	49	45	138	149	252	251	205
38	愛媛県	35	107	23	34	57	193	228	334	367	269
39	高知県	11	58	29	42	30	123	115	171	219	155
40	福岡県	55	223	67	131	101	598	670	918	1,193	742
41	佐賀県	21	48	27	41	31	111	148	174	204	126
42	長崎県	12	48	15	38	32	134	254	241	325	187
43	熊本県	30	138	56	87	77	224	313	443	451	385
44	大分県	34	98	36	46	49	161	213	245	359	227
45	宮崎県	19	57	24	72	27	131	144	220	315	254
46	鹿児島県	23	115	42	81	44	201	339	349	479	388
47	沖縄県	37	116	86	183	184	107	190	193	257	337
合 計		2,276	6,980	1,837	4,265	4,634	17,750	17,963	21,082	23,699	18,407

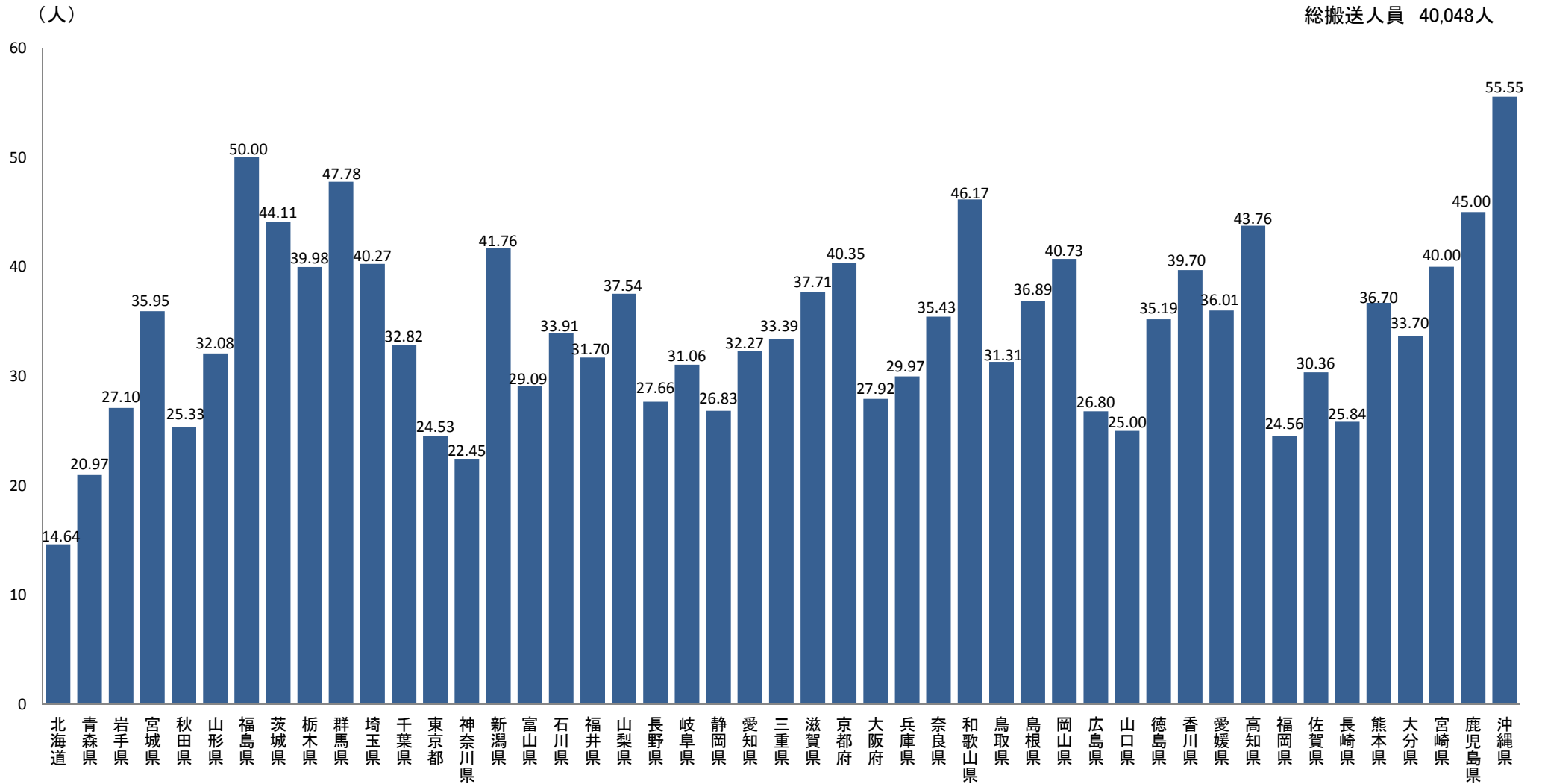
夏期の都道府県別月別熱中症傷病者搬送状況(平成22年～26年)(表)

都道府県		8月～9月の救急搬送人員数									
		8月					9月				
		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
1	北海道	521	352	434	308	276	93	19	178	22	18
2	青森県	347	143	229	159	124	50	30	98	13	15
3	岩手県	381	170	219	164	174	44	13	53	19	12
4	宮城県	546	306	356	474	477	94	48	119	36	19
5	秋田県	374	129	308	146	103	49	32	85	23	5
6	山形県	367	104	227	172	167	33	29	38	24	8
7	福島県	498	355	463	472	472	110	84	93	49	14
8	茨城県	680	443	466	759	630	206	170	161	91	35
9	栃木県	430	323	284	456	383	126	116	68	39	23
10	群馬県	556	401	378	471	445	131	126	60	41	14
11	埼玉県	1,688	1,357	1,131	1,617	1,364	507	293	257	207	57
12	千葉県	1,219	949	862	1,498	893	386	231	199	197	60
13	東京都	2,136	1,692	1,422	2,087	1,613	583	299	235	255	79
14	神奈川県	1,339	1,118	879	1,522	897	349	225	186	205	73
15	新潟県	846	406	546	515	473	133	118	137	102	27
16	富山県	221	129	171	176	148	44	22	38	11	18
17	石川県	347	142	249	169	179	73	40	55	31	13
18	福井県	209	100	147	161	92	49	21	42	26	3
19	山梨県	155	113	90	159	110	51	34	18	23	12
20	長野県	396	252	301	301	179	82	60	39	34	10
21	岐阜県	459	307	319	450	168	195	67	62	53	42
22	静岡県	684	541	454	864	322	292	93	113	88	68
23	愛知県	1,716	1,151	973	1,703	778	515	218	169	141	115
24	三重県	420	309	225	552	187	125	34	53	47	28
25	滋賀県	341	193	208	328	174	91	31	45	18	28
26	京都府	774	463	562	799	311	215	90	114	73	36
27	大阪府	2,120	982	1,114	2,064	844	616	302	350	185	148
28	兵庫県	1,501	711	913	1,282	487	362	164	176	123	84
29	奈良県	392	186	199	335	149	109	42	51	56	27
30	和歌山県	257	162	176	322	131	80	39	51	34	25
31	鳥取県	222	103	152	179	54	43	34	20	18	8
32	島根県	227	113	180	139	69	74	26	55	18	13
33	岡山県	657	369	401	608	233	188	82	124	69	59
34	広島県	779	396	461	799	225	211	95	92	72	68
35	山口県	384	176	201	373	102	78	47	29	34	17
36	徳島県	181	115	121	198	87	42	15	23	10	21
37	香川県	328	191	174	344	115	100	48	43	19	26
38	愛媛県	393	222	262	367	159	107	49	65	36	21
39	高知県	215	152	139	292	121	96	19	24	21	20
40	福岡県	1,164	563	673	1,222	324	265	121	54	139	83
41	佐賀県	228	120	168	298	72	49	40	35	30	26
42	長崎県	328	188	294	422	109	101	66	42	39	33
43	熊本県	418	205	309	599	147	124	50	56	98	52
44	大分県	261	155	163	334	108	42	37	27	20	13
45	宮崎県	195	150	144	291	127	91	22	53	36	40
46	鹿児島県	342	218	276	420	238	146	63	67	139	86
47	沖縄県	206	141	150	262	143	95	56	57	69	122
合 計		28,448	17,566	18,573	27,632	15,183	7,645	3,960	4,209	3,133	1,824

集計5

# 平成26年夏期の都道府県別人口10万人当たりの熱中症傷病者搬送人員(グラフ)

総搬送人員 40,048人



夏期の都道府県別熱中症による救急搬送状況(平成22年～26年)(表)

都道府県	6月1日～9月30日										
	平成22年熱中症搬送人員(人)		平成23年熱中症搬送人員(人)		平成24年熱中症搬送人員(人)		平成25年熱中症搬送人員(人)		平成26年熱中症搬送人員(人)		
	人口10万人当たりの搬送人員(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)	人口10万人当たりの搬送人員(人)	
1	北海道	881	15.65	674	11.98	1,108	20.12	883	16.04	795	14.64
2	青森県	527	36.68	312	21.72	467	34.00	278	20.24	280	20.97
3	岩手県	615	44.40	475	34.30	518	38.94	293	22.03	351	27.10
4	宮城県	1,080	45.76	867	36.73	850	36.20	725	30.88	837	35.95
5	秋田県	542	47.32	375	32.74	563	51.84	326	30.02	266	25.33
6	山形県	591	48.59	345	28.37	423	36.19	309	26.43	366	32.08
7	福島県	1,016	48.58	909	43.47	952	46.92	855	42.14	973	50.00
8	茨城県	1,420	47.73	1,218	40.94	1,271	42.80	1,435	48.32	1,293	44.11
9	栃木県	992	49.19	895	44.38	764	38.05	860	42.84	794	39.98
10	群馬県	1,183	58.44	1,148	56.72	937	46.66	1,040	51.79	948	47.78
11	埼玉県	3,819	54.14	3,441	48.78	2,936	40.81	3,542	49.23	2,908	40.27
12	千葉県	2,505	41.36	2,273	37.53	1,968	31.66	3,156	50.77	2,032	32.82
13	東京都	4,364	34.70	3,832	30.47	3,173	24.11	4,535	34.46	3,262	24.53
14	神奈川県	2,708	30.80	2,478	28.19	2,058	22.74	3,325	36.75	2,038	22.45
15	新潟県	1,402	57.66	1,128	46.39	1,181	49.74	976	41.10	973	41.76
16	富山県	432	38.86	324	29.14	396	36.22	317	29.00	313	29.09
17	石川県	640	54.51	446	37.99	549	46.93	378	32.31	393	33.91
18	福井県	387	47.10	298	36.27	334	41.42	325	40.31	252	31.70
19	山梨県	358	40.47	313	35.39	210	24.33	377	43.68	318	37.54
20	長野県	809	36.84	700	31.87	703	32.66	673	31.27	587	27.66
21	岐阜県	1,083	51.39	843	40.01	839	40.32	1,064	51.13	637	31.06
22	静岡県	1,603	42.27	1,274	33.59	1,049	27.86	1,717	45.60	999	26.83
23	愛知県	4,184	57.67	3,390	46.73	2,732	36.87	4,090	55.19	2,402	32.27
24	三重県	960	51.42	840	44.99	753	40.60	1,207	65.08	612	33.39
25	滋賀県	653	47.31	558	40.42	562	39.84	702	49.76	534	37.71
26	京都府	1,467	55.41	1,256	47.44	1,381	52.39	1,715	65.06	1,056	40.35
27	大阪府	3,916	44.41	2,742	31.10	2,844	32.08	4,064	45.84	2,471	27.92
28	兵庫県	2,658	47.54	1,910	34.16	2,042	36.54	2,633	47.12	1,666	29.97
29	奈良県	776	54.60	584	41.09	573	40.91	757	54.04	490	35.43
30	和歌山県	506	48.84	515	49.71	497	49.59	708	70.64	452	46.17
31	鳥取県	374	61.61	316	52.06	356	60.48	337	57.25	181	31.31
32	島根県	427	57.53	295	39.75	437	60.91	316	44.05	259	36.89
33	岡山県	1,187	60.65	967	49.41	1,116	57.37	1,286	66.11	786	40.73
34	広島県	1,385	48.15	1,077	37.44	1,112	38.87	1,591	55.61	761	26.80
35	山口県	638	42.74	473	31.69	503	34.66	773	53.26	355	25.00
36	徳島県	318	39.26	250	30.87	304	38.70	440	56.02	271	35.19
37	香川県	587	57.98	469	46.33	489	49.10	663	66.58	391	39.70
38	愛媛県	728	49.60	606	41.29	684	47.78	804	56.17	506	36.01
39	高知県	445	55.88	344	43.20	363	47.48	574	75.09	326	43.76
40	福岡県	2,082	41.23	1,577	31.23	1,712	33.75	2,685	52.94	1,250	24.56
41	佐賀県	409	47.21	356	41.09	404	47.54	573	67.43	255	30.36
42	長崎県	575	38.89	556	37.60	592	41.49	824	57.75	361	25.84
43	熊本県	796	43.21	706	38.32	864	47.54	1,235	67.95	661	36.70
44	大分県	498	41.17	503	41.58	471	39.36	759	63.43	397	33.70
45	宮崎県	436	37.81	373	32.35	441	38.85	714	62.89	448	40.00
46	鹿児島県	712	40.61	735	41.92	734	43.02	1,119	65.58	756	45.00
47	沖縄県	445	32.68	503	36.94	486	34.89	771	55.36	786	55.55
	合計	56,119		46,469		45,701		58,729		40,048	

## 平成 26 年 9 月の熱中症による救急搬送状況

1. 集計 1 平成 26 年 9 月都道府県別熱中症による救急搬送状況（表）
2. 集計 2 9 月都道府県別熱中症による救急搬送状況（平成 25 年～26 年）（表）
3. 集計 3 平成 26 年 9 月都道府県別熱中症傷病者総搬送人員昨年比（グラフ）
4. 集計 4 平成 26 年 9 月都道府県別人口 10 万人当たりの  
熱中症傷病者総搬送人員（グラフ）
5. 集計 5 平成 26 年 9 月全国の熱中症による救急搬送状況（表）

集計1 平成26年9月都道府県別熱中症による救急搬送状況(表)

都道府県		平成26年9月1日～9月30日											
		年齢区分(人)					初診時における傷病程度(人)						
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
1	北海道	0	0	5	5	8	18	0	0	4	12	2	18
2	青森県	0	0	2	5	8	15	0	0	6	9	0	15
3	岩手県	0	0	3	7	2	12	0	0	5	7	0	12
4	宮城県	0	0	8	4	7	19	0	0	11	8	0	19
5	秋田県	0	0	0	3	2	5	0	1	0	4	0	5
6	山形県	0	0	2	3	3	8	0	0	1	7	0	8
7	福島県	0	0	2	2	10	14	0	0	1	13	0	14
8	茨城県	0	0	7	12	16	35	0	1	13	21	0	35
9	栃木県	0	1	3	9	10	23	0	0	10	13	0	23
10	群馬県	0	0	3	6	5	14	0	0	4	10	0	14
11	埼玉県	0	1	11	22	23	57	0	0	15	42	0	57
12	千葉県	0	0	10	24	26	60	0	2	20	38	0	60
13	東京都	0	0	8	38	33	79	0	2	29	48	0	79
14	神奈川県	0	2	20	26	25	73	0	1	30	42	0	73
15	新潟県	1	0	10	10	6	27	0	0	8	19	0	27
16	富山県	0	1	3	7	7	18	0	1	4	13	0	18
17	石川県	0	0	2	5	6	13	0	0	4	9	0	13
18	福井県	0	1	0	0	2	3	0	0	1	2	0	3
19	山梨県	0	0	2	4	6	12	0	0	5	7	0	12
20	長野県	0	0	2	2	6	10	0	0	4	6	0	10
21	岐阜県	0	2	10	11	19	42	0	0	15	27	0	42
22	静岡県	0	1	13	21	33	68	0	2	14	52	0	68
23	愛知県	0	2	15	55	43	115	0	0	32	83	0	115
24	三重県	0	0	4	6	18	28	0	0	5	21	2	28
25	滋賀県	0	1	11	7	9	28	0	0	2	26	0	28
26	京都府	0	1	7	12	16	36	0	0	2	34	0	36
27	大阪府	0	0	30	61	57	148	1	3	20	124	0	148
28	兵庫県	0	1	12	38	33	84	0	2	18	63	1	84
29	奈良県	0	1	5	11	10	27	0	0	6	21	0	27
30	和歌山県	0	0	4	4	17	25	0	0	6	19	0	25
31	鳥取県	0	0	3	2	3	8	0	0	3	5	0	8
32	島根県	0	0	2	5	6	13	0	0	3	10	0	13
33	岡山県	0	3	8	20	28	59	0	0	12	45	2	59
34	広島県	0	2	2	18	46	68	0	4	20	44	0	68
35	山口県	0	0	4	5	8	17	0	0	3	14	0	17
36	徳島県	0	0	2	2	17	21	0	0	7	11	3	21
37	香川県	0	0	4	9	13	26	1	1	14	10	0	26
38	愛媛県	0	0	3	13	5	21	0	0	5	16	0	21
39	高知県	0	0	3	5	12	20	0	0	4	14	2	20
40	福岡県	0	2	15	27	39	83	0	0	44	39	0	83
41	佐賀県	0	0	6	10	10	26	0	0	10	16	0	26
42	長崎県	0	0	7	12	14	33	0	0	14	19	0	33
43	熊本県	0	0	9	16	27	52	0	0	12	40	0	52
44	大分県	0	0	1	7	5	13	0	0	7	6	0	13
45	宮崎県	0	2	6	16	16	40	0	0	7	33	0	40
46	鹿児島県	0	1	12	31	42	86	0	1	32	53	0	86
47	沖縄県	0	0	25	65	32	122	1	2	10	105	4	122
合計【人】		1	25	326	683	789	1,824	3	23	502	1,280	16	1,824
割合		0.1%	1.4%	17.9%	37.4%	43.3%	100.0%	0.2%	1.3%	27.5%	70.2%	0.9%	100.0%

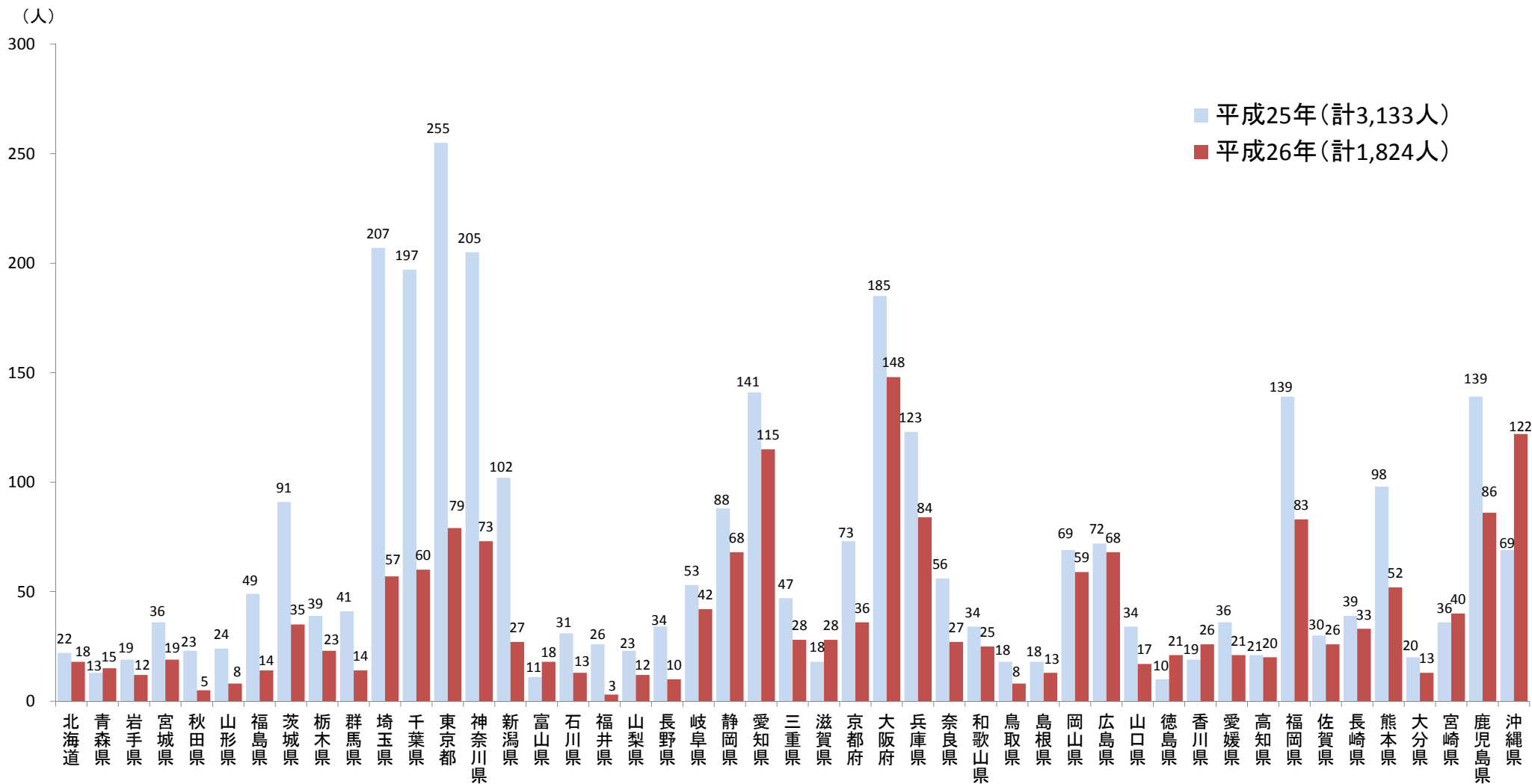
集計2

9月都道府県別熱中症傷病者搬送状況(平成25年～26年)(表)

都道府県	9月1日～9月30日			
	平成25年熱中症 搬送人員(人)	平成26年熱中症 搬送人員(人)	うち人口10万人当たりの 搬送人員(人)	昨年比(倍)
1 北海道	22	18	0.33	0.8
2 青森県	13	15	1.12	1.2
3 岩手県	19	12	0.93	0.6
4 宮城県	36	19	0.82	0.5
5 秋田県	23	5	0.48	0.2
6 山形県	24	8	0.70	0.3
7 福島県	49	14	0.72	0.3
8 茨城県	91	35	1.19	0.4
9 栃木県	39	23	1.16	0.6
10 群馬県	41	14	0.71	0.3
11 埼玉県	207	57	0.79	0.3
12 千葉県	197	60	0.97	0.3
13 東京都	255	79	0.59	0.3
14 神奈川県	205	73	0.80	0.4
15 新潟県	102	27	1.16	0.3
16 富山県	11	18	1.67	1.6
17 石川県	31	13	1.12	0.4
18 福井県	26	3	0.38	0.1
19 山梨県	23	12	1.42	0.5
20 長野県	34	10	0.47	0.3
21 岐阜県	53	42	2.05	0.8
22 静岡県	88	68	1.83	0.8
23 愛知県	141	115	1.55	0.8
24 三重県	47	28	1.53	0.6
25 滋賀県	18	28	1.98	1.6
26 京都府	73	36	1.38	0.5
27 大阪府	185	148	1.67	0.8
28 兵庫県	123	84	1.51	0.7
29 奈良県	56	27	1.95	0.5
30 和歌山県	34	25	2.55	0.7
31 鳥取県	18	8	1.38	0.4
32 島根県	18	13	1.85	0.7
33 岡山県	69	59	3.06	0.9
34 広島県	72	68	2.39	0.9
35 山口県	34	17	1.20	0.5
36 徳島県	10	21	2.73	2.1
37 香川県	19	26	2.64	1.4
38 愛媛県	36	21	1.49	0.6
39 高知県	21	20	2.68	1.0
40 福岡県	139	83	1.63	0.6
41 佐賀県	30	26	3.10	0.9
42 長崎県	39	33	2.36	0.8
43 熊本県	98	52	2.89	0.5
44 大分県	20	13	1.10	0.7
45 宮崎県	36	40	3.57	1.1
46 鹿児島県	139	86	5.12	0.6
47 沖縄県	69	122	8.62	1.8
計	3,133	1,824		

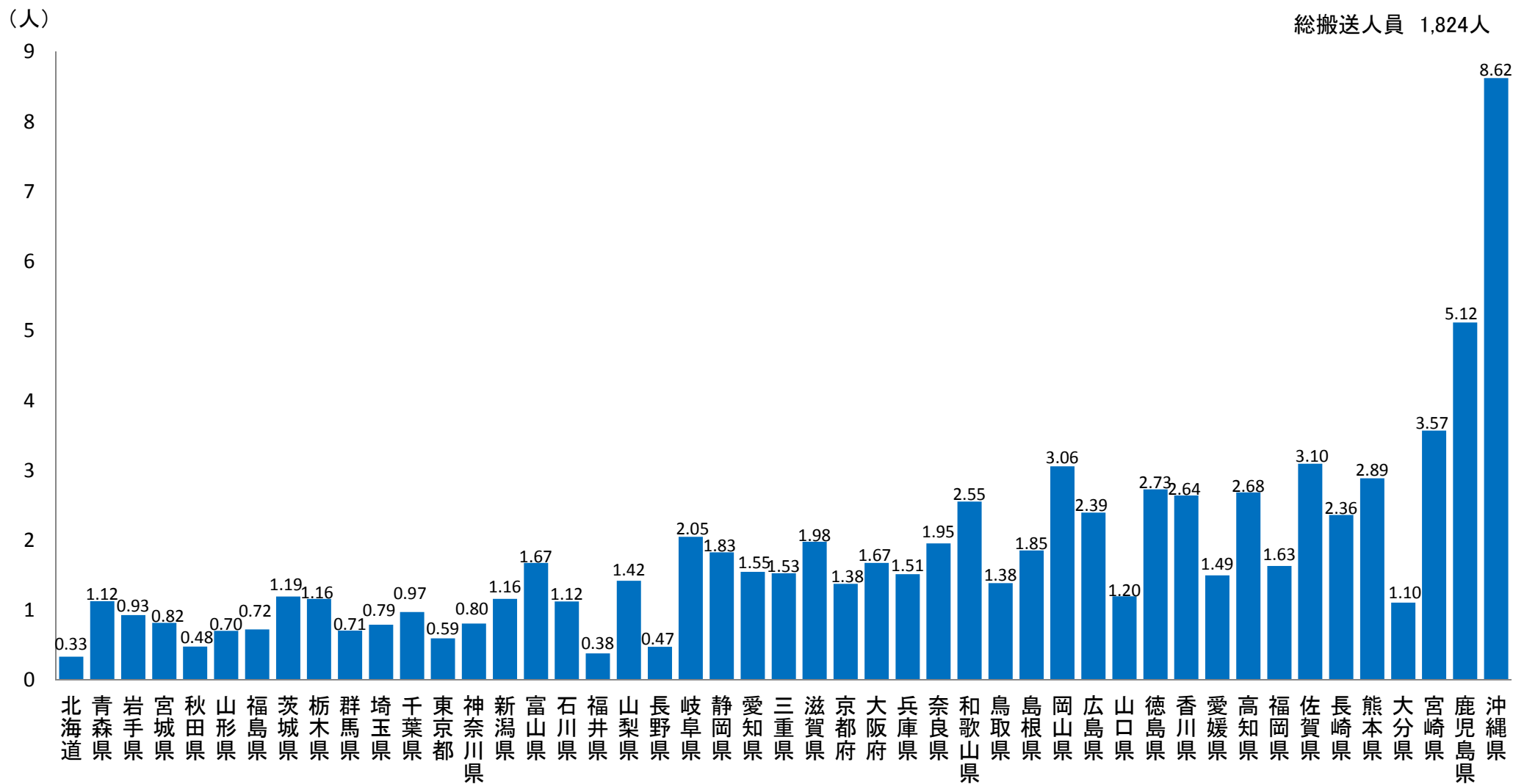
集計3

平成26年9月の都道府県別熱中症傷病者総搬送人員昨年比(グラフ)





集計4 平成26年9月都道府県別人口10万人当たりの熱中症傷病者搬送人員(グラフ)



## 集計5

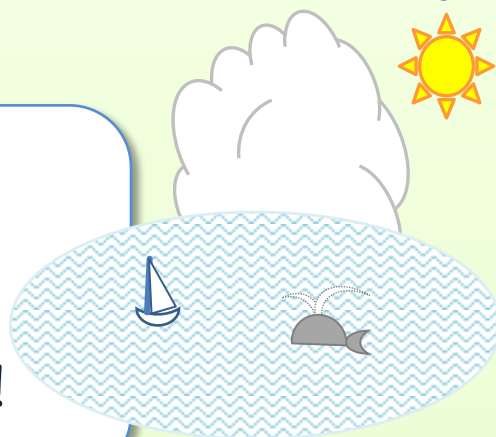
## 平成26年9月全国の熱中症による救急搬送状況(表)

日付	曜日	熱中症 搬送人員(人)	年齢区分(人)						初診時における傷病程度(人)					
			新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
9月1日	月	42	0	0	5	15	22	42	0	0	13	28	1	42
9月2日	火	150	1	2	19	39	89	150	0	2	50	96	2	150
9月3日	水	84	0	0	18	30	36	84	0	4	23	57	0	84
9月4日	木	59	0	0	7	27	25	59	0	1	20	38	0	59
9月5日	金	142	0	2	16	69	55	142	1	2	41	98	0	142
9月6日	土	273	0	1	79	98	95	273	0	1	56	213	3	273
9月7日	日	150	0	1	32	58	59	150	0	1	33	116	0	150
9月8日	月	53	0	4	7	15	27	53	0	1	24	28	0	53
9月9日	火	61	0	1	6	22	32	61	0	1	25	34	1	61
9月10日	水	74	0	1	13	27	33	74	0	0	23	51	0	74
9月11日	木	44	0	1	7	12	24	44	0	1	12	31	0	44
9月12日	金	34	0	1	6	11	16	34	0	0	9	25	0	34
9月13日	土	65	0	0	17	24	24	65	0	0	16	49	0	65
9月14日	日	92	0	2	25	35	30	92	0	1	26	65	0	92
9月15日	月	51	0	0	11	14	26	51	0	0	12	37	2	51
9月16日	火	79	0	0	16	27	36	79	1	1	19	57	1	79
9月17日	水	43	0	0	5	22	16	43	0	0	10	33	0	43
9月18日	木	18	0	2	2	4	10	18	0	0	5	12	1	18
9月19日	金	8	0	0	1	4	3	8	0	0	2	5	1	8
9月20日	土	17	0	0	2	3	12	17	0	1	6	10	0	17
9月21日	日	34	0	1	6	14	13	34	0	0	7	27	0	34
9月22日	月	13	0	1	1	4	7	13	0	0	6	6	1	13
9月23日	火	34	0	1	2	20	11	34	0	1	6	27	0	34
9月24日	水	8	0	0	1	4	3	8	0	1	0	7	0	8
9月25日	木	16	0	0	1	9	6	16	0	0	7	9	0	16
9月26日	金	25	0	2	0	8	15	25	0	0	9	16	0	25
9月27日	土	51	0	0	12	20	19	51	1	2	11	36	1	51
9月28日	日	63	0	1	6	30	26	63	0	1	17	43	2	63
9月29日	月	24	0	0	1	13	10	24	0	1	8	15	0	24
9月30日	火	17	0	1	2	5	9	17	0	0	6	11	0	17
計		1,824	1	25	326	683	789	1,824	3	23	502	1,280	16	1,824
熱中症の搬送人員 に対する割合			0.1%	1.4%	17.9%	37.4%	43.3%	100.0%	0.2%	1.3%	27.5%	70.2%	0.9%	100.0%

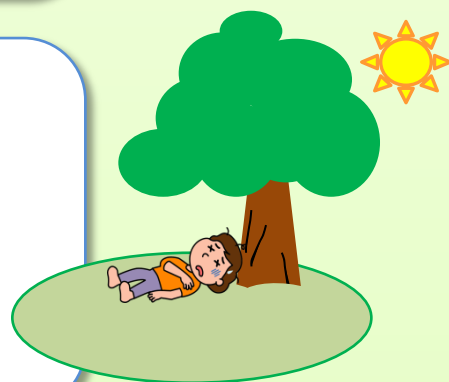
# 熱中症を予防して元気な夏を！



夏に向けて、熱中症になる人が増えてきます。  
熱中症を知って、しっかり予防し、楽しい夏を過ごしましょう！



このリーフレットでは、熱中症の症状や応急手当を紹介しています。



救急車を呼んで、一刻も早く病院へ行くべき状態や症状についても紹介しています。  
当てはまる場合は、ためらわずに119番しましょう。

※消防庁が作成した「救急受診ガイド」や、「救急車利用マニュアル」も合わせてご覧ください  
(消防庁HP「<http://www.fdma.go.jp/>」の右側のバナーをクリック)



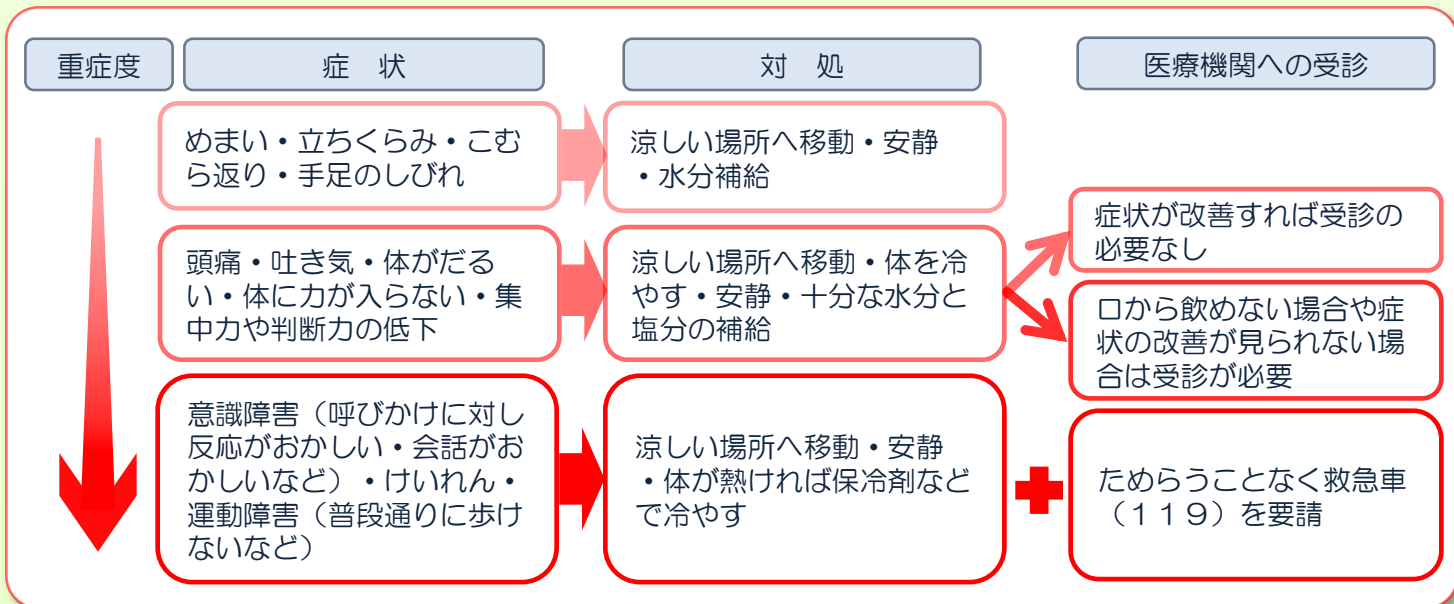
心臓や腎臓、その他持病をお持ちの方は、夏の過ごし方についてかかりつけの医師に相談し、上手にコントロールしましょう。

# 熱中症とは？

室温や気温が高い中で、体内の水分や塩分（ナトリウム）などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇、めまい、体のだるさ、ひどいときには、けいれんや意識の異常など、様々な障害をおこす症状のことです。

家の中でじっとしていても室温や湿度が高いために、体から熱が逃げにくく熱中症になる場合がありますので、注意が必要です。

## 熱中症の分類と対処方法



## こんな時はためらわずに救急車を呼びましょう



- 自分で水が飲めなかったり、脱力感や倦怠感が強く、動けない場合は、ためらわずに救急車を呼んでください。
- 意識がない（おかしい）、全身のけいれんがあるなどの症状を発見された方は、ためらわずに救急車を呼んでください。

## 熱中症予防のポイント

- 😊 部屋の温度をこまめにチェック！  
（普段過ごす部屋には温度計を置くことをお奨めします）
- 😊 室温28℃を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう！
- 😊 のどが渇く前に水分補給！
- 😊 のどが渇かなくてもこまめに水分補給！
- 😊 外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策も！
- 😊 無理をせず、適度に休憩を！
- 😊 日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを！



## 子供の特徴

地面の照り返しにより、高い温度にさらされる



汗腺などが未熟

体温調節機能が未熟なため、  
熱中症にかかりやすい

## 保護者の方へ

- 👉 お子さんの様子を十分に観察しましょう！
- 👉 遊びの最中には、水分補給や休憩を！
- 👉 外出時の服装に注意し、帽子も忘れずに！
- 👉 日頃から栄養バランスのとれた食事や運動、遊びを通して暑さに負けない体づくりを実践しましょう！

## 高齢者の特徴

のどの渇きを感じにくい



暑さを感じにくい

汗をかきにくい

体温を下げるための体の反応が弱くなっており、  
自覚がないのに熱中症になる危険がある

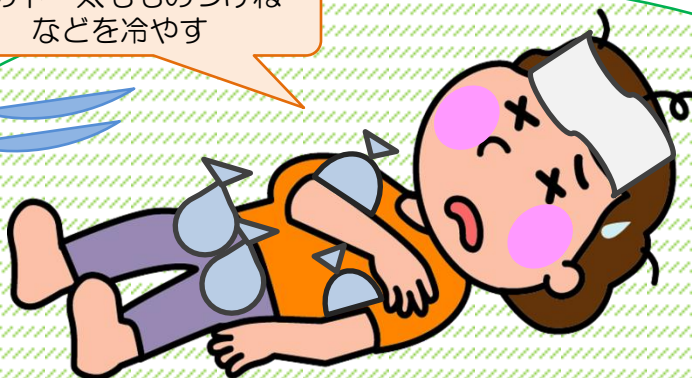
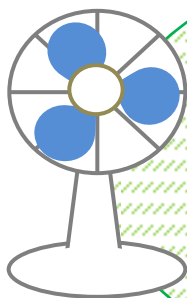
## 熱中症にならないために

- 👉 室温をこまめにチェックし、エアコンや扇風機等を活用！
- 👉 のどが渇かなくても水分補給！
- 👉 調子が悪いと感じたら、家族や近くの人にそばにいてもらいましょう！

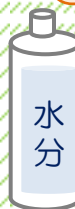
## + 熱中症の応急手当 +

- + 涼しい場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる
- + エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やす

脇の下・太もものつけね  
などを冷やす



飲めるようであれば  
水分を少しずつ  
頻回に取りらせる



🚨 持病をお持ちの方やお子さんは、かかりつけの医師とあらかじめ相談し、熱中症対策についてアドバイスをもらっておきましょう



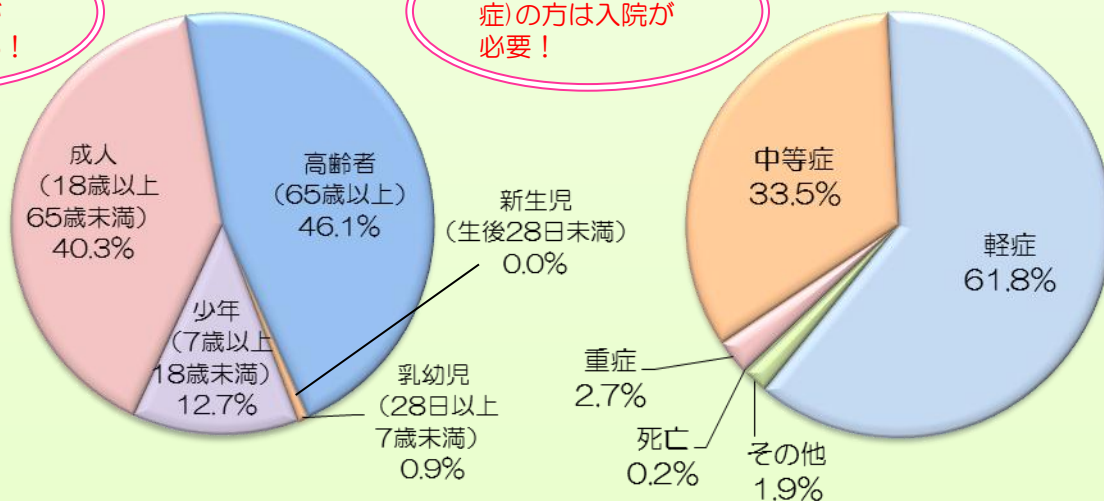
消防庁では、夏期（6月～9月）における熱中症による救急搬送の全国調査を実施しています。年代別では、高齢者が4割を占めており、また、乳幼児と少年を合わせると1割以上となっています。熱中症による救急搬送者のうち、約4割の方が入院しています。

### 6月～9月の熱中症による救急搬送者の内訳（平成22年～平成25年合計）

搬送人員計 207,018人

高齢者が約4割、乳幼児と少年が約1割を占める！

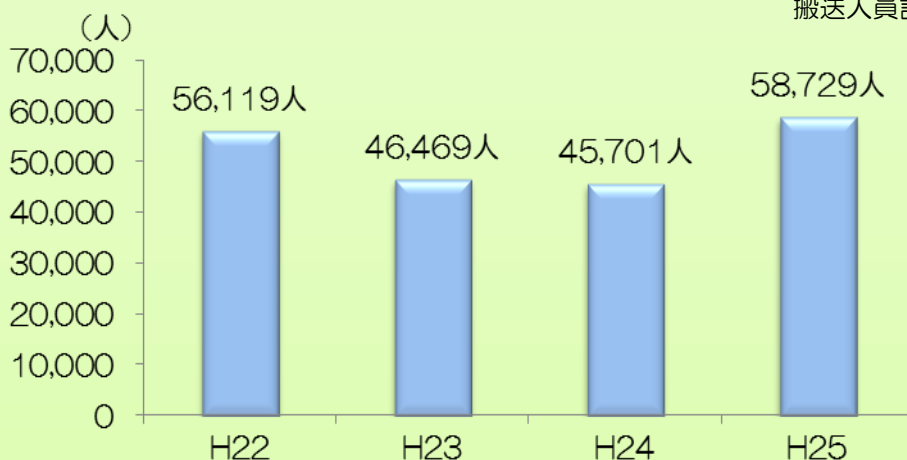
約4割(重症・中等症)の方は入院が必要！



熱中症により、毎年約4万人以上の方が救急搬送されています。また、平成25年には過去4年間の調査のうち、最も多くの方を救急搬送しました。熱中症による救急搬送者増加の要因として、気温や湿度の上昇が関係していることが分かっています。

### 熱中症による救急搬送者数（平成22年～平成25年 6月～9月）

搬送人員計 207,018人



◆ 消防庁では、HP上で熱中症の救急搬送状況調査の速報を週ごとに公表しています。  
URL : <http://www.fdma.go.jp/>

参考

環境省：「熱中症環境保健マニュアル」 [http://www.env.go.jp/chemi/heat\\_stroke/manual.html](http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/manual.html)

## 熱中症による救急搬送の状況

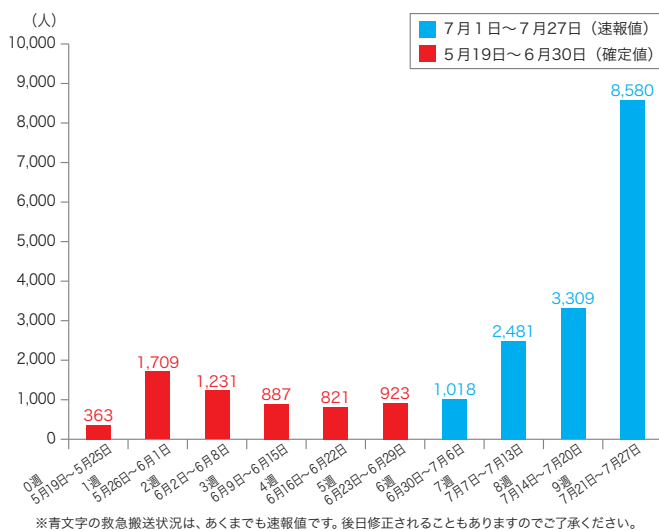
### 救急企画室

#### 1 はじめに

7月上旬からの梅雨明け地域の拡がりとともに、全国各地で連続した真夏日が観測されるようになりました。気温の上昇に伴い、熱中症による救急搬送者数も増えていきます。熱中症の症状は、大量の発汗やめまいなどの軽度のものから、頭痛や軽い意識障害を起こす中等度のもの、また重篤な意識障害や腎機能障害、血液凝固異常を起こし、死に至る重度のものまで様々です。外界の環境に影響を受けやすく、また誰にでも起こりうる病態です。しかし、適切な予防対策を講じれば、その発症を防ぐことができます。

消防庁では、HPやtwitterを通じて熱中症情報の注意喚起や情報提供等を積極的に行うとともに、熱中症による救急搬送状況について調査・公表しています。

このたび、本格的な夏が到来し、引き続き熱中症対策が必要とされるこの時期に、皆様の熱中症に対する関心を高め、意識的な予防に努めていただくことを目的として、今年の熱中症による救急搬送状況について、最新の速報値（7月27日時点）から報告します。



※青文字の救急搬送状況は、あくまでも速報値です。後日修正されることもありますのでご了承ください。

図1 平成26年 熱中症救急搬送人数 (週別推移)

#### 2 熱中症救急搬送人数 (週別推移) (図1)

5月下旬から6月上旬に一部の地域で、連続した高い気温が観測された時期と、7月上旬から全国的に梅雨明け

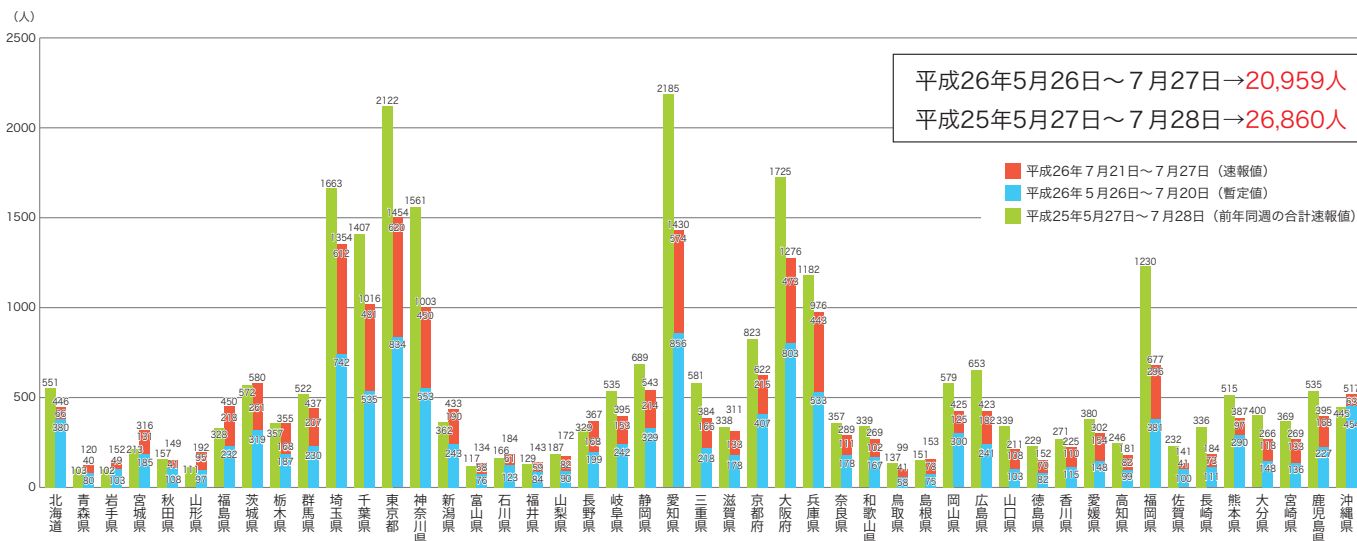


図2 平成26年 熱中症救急搬送人数総数 (都道府県別昨年比)

けが始まり、それに伴って気温が高くなり始めた時期に、熱中症救急搬送者数の増加が見られます。また、7月下旬に37都府県での高温注意情報が発令された第9週の熱中症救急搬送人数は今年最多の8,580人となり、第8週の2.7倍増となっています。昨年同週と比較すると搬送人数は4,687人多く、平年よりも多い状況でした。急激に気温が上昇するような環境の変化に体の順応が追いつかなかったことも熱中症搬送人数の増加の要因のひとつと考えられます。

### 3 熱中症救急搬送人数総数（都道府県別 昨年比）（図2）

今年の第1週から第9週（5月26日から7月27日）までの熱中症による救急搬送人数は20,959人（昨年度未調査の0週363人を除く）で、昨年同時期（第1週～第9週）の26,860人と比べると5,901人（22%）減となっています。昨年と比べ、全国的に梅雨明けの時期が少し遅かったことも影響していると考えられます。

### 4 年齢区分別搬送人数（図3）

今年の第0週から第9週までの熱中症による救急搬送人数の合計21,322人のうち、高齢者が9,805人で最も多く、次いで成人7,757人、少年3,512人、乳幼児247人、新生児1人となっています。救急搬送人数の半数近くを高齢者が占めます。高齢者は暑さやのどの渇きを自覚しにくいなど体の変化に気づきにくい状態であることが多く、それが原因のひとつと考えられます。また、小さな子供は汗腺の発達が未熟で、体温調節が苦手であり、熱を放散しにくく、熱中症にかかりやすいといわれています。

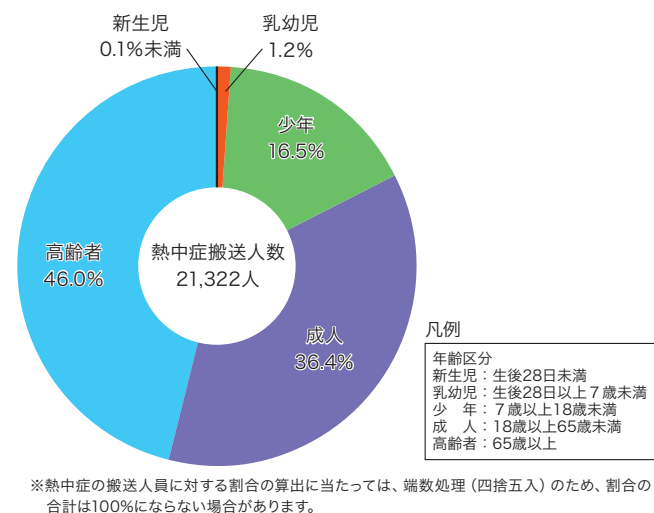


図3 年齢区分別搬送人数

### 5 傷病程度別搬送人数（図4）

今年の第0週から第9週までの熱中症による救急搬送人数の合計21,322人のうち、軽症が13,944人で最も多く、次いで中等症6,591人、重症449人、その他307人、死亡31人となっています。

熱中症の症状は対処のタイミングや、年齢等傷病者の背景の違いにも影響を受け、刻々と変化をします。中には、短時間で重篤な状態に陥る場合もありますので十分に注意が必要です。

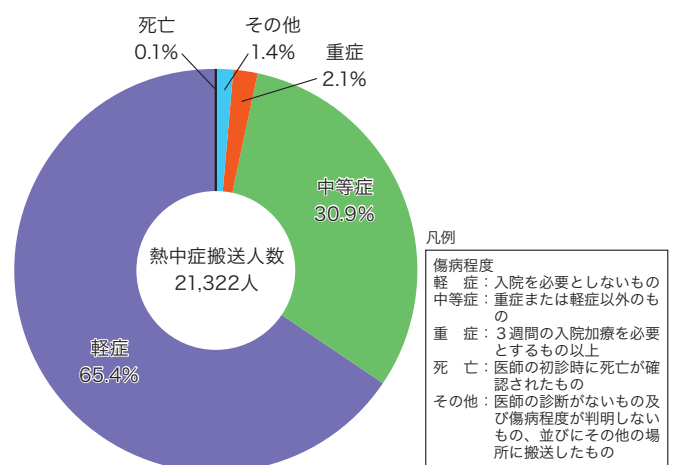


図4 傷病程度別搬送人数

### 6 おわりに

熱中症を理解し、予防行動を取ることで、熱中症は発症を防ぐことが可能です。また、周囲の気遣いで熱中症弱者といわれる高齢者や子供の発生を食い止めることもできます。

消防庁HPでは熱中症による救急搬送状況の速報値を毎週発表するとともに、予防のポイントや応急手当についてわかりやすくまとめた「熱中症対策リーフレット」が入手可能です。こうした取り組みを活用し、予防に役立て夏を上手に乗り切りましょう。

#### 消防庁熱中症情報

[http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9\\_2.html](http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/fieldList9_2.html)

#### 熱中症対策リーフレット

<http://www.fdma.go.jp/html/data/tuchi2605/pdf/260514-1.pdf>

#### 問い合わせ先

消防庁救急企画室 寺谷、平井、大迫  
TEL: 03-5253-7529